

原告・ヨシノユギから

ついに提訴の日を迎えることができました。これまで、カンパや賛同人メッセージなど、温かいご支援をくださった皆様に、心からの感謝を表明したいと思います。今回、裁判という選択をしたことに対して、数々のご批判もありました。私が提訴することで病院側が萎縮し、結果的にGID医療の後退を招くのではないかという危惧が、当事者の方に多くあったようです。しかし、私は大阪医大と「ケンカ」しようと思っているわけではありません。私はこれまで、術前・術後の医師とのやりとり、ジェンダークリニック運営委員会への要請と出席、質問状の提出などを通じて、大阪医大に対してはたらきかけを続けてきました。それにも関わらず誠実な対応が得られなかったために、裁判という手段を選択したのです。

私の裁判が「賢明」でないというご指摘に対しては、次のブレヒトの詩によって応答したいと思います。「……賢明でありたい、と思うこともある。／賢いとはどういうことか、古の書物には書いてある。／世の争いごとから身を引き、短い命を、虞れを抱かずに過ごすこと。／悪には善で報い、望みは叶えようとせず、手に入れたそばから忘れること。／これが『賢い』ということだと。／どれひとつとして、僕にできるはずがない。」

裁判という提起の傍ら、今後、様々な方との対話や、大阪医大とのやりとりを通じて、あくまで建設的な「闘い」をしていきたいと考えています。医療過誤裁判は、原告にとってリスクの高いものです。決して私怨による意趣返しや、医療を転覆させてやろうという悪意で出来るものではありません。どうぞこの裁判にご理解を頂き、今後とも皆様のご指導とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願ひします。

新たな出発のために一裁判提訴を受けて

ヨシノ支援プロジェクトは、ヨシノに対する医療ミスがあった2007年5月～6月にかけてヨシノの状態を見過せないと判断した友人たちによって同年7月に立ち上げが行われました。そして、半年以上の月日を経て裁判提訴に至りました。その間に、大阪医科大病院の主治医との診療の場でのやりとり、ジェンダークリニックへの参加、質問状の提出を行い、そのどれに対しても不誠実であり不正義極まりない対応しかかえってこず、それはヨシノを何重にも傷つけ、ヨシノと私たち支援プロジェクトのささやかな「期待」は裏切り続けられました。その仕打ちを社会的に問う必要性を痛感し、そこに初めて「裁判提訴」という選択肢が浮上してきました。それ以来、裁判闘争を支えるための人的ネットワークと財政的な基盤を整備するため、京都を中心にあちこちに出かけていき、心ある多くの方々から多大なる支援を頂くことができました（賛同人222名・カンパ約80万円—2007年4月現在）。そのおかげで、ようやく提訴を迎えることができました。この間のヨシノの負担は多大なるものがありましたが、なんとか支援プロジェクトとともにここまで来たというのが正直なところかと思ひます。この場を借りて改めてこの裁判と支援プロジェクトの活動に賛同して下さっている方々に深くお礼申し上げます。そして、引き続きこの裁判闘争へのご支援とご注目の程どうかよろしくお願ひいたします。

ヨシノ支援プロジェクト代表世話人・山本崇記

事務局メンバーの紹介(第1回)

私たち、ヨシノ支援プロジェクト/救い難き理想主義者ども(通称・スクドモ)は、現在約18名で活動しています。日常的な活動については、メンバーの中でも主に、ヨシノと同じ立命館大学の学生・院生を中心に進めています。

活動内容としては、主に月に約2回の支援会議と情宣です。情宣では京都市を中心にさまざまなイベントに参加させてもらい、アピールさせてもらっています。これからの課題としては、より多くの人々に、深くこの活動について理解してもらうことだと考えています。また、それと同時に私たち自身も、常に私たちが提起している問題について、多くの人々から学ばなければならない、学びたいと思っています。

スクドモのメンバーは、ヨシノの友人やそのつながりから集った人々が多く、いわゆるGID、あるいは何らかの当事者のグループではありません。ともすれば、その点に関して危うさを孕んでいるととられることもあるかもしれません。しかし、その弱さについては、始めから全員が分かった上で、それでも”当事者ではない”わたしたちが、GIDという要素を持つヨシノという個人を支えようという目的で、ここにいます。それが、「救い難き理想主義者ども」です。だからこそ、多くの人々と出会い、話し、学び、互いに理解し合おうという姿勢を持ち続けなければならないと強く思っています。

このように本当に、若輩者の集まりではありますが、これからもどうか一層のご指導と、ご理解のほど、よろしくお願ひいたします。

ヨシノ支援プロジェクト事務局長・ふるかわあす

We need your help and Kampaniya!!

裁判勝利と真実究明のため、力を貸してください!

口座名称：ヨシノ支援プロジェクト

口座番号：00920-1-298335

◇1口500円からでお願いしております。1口〜何口でも構いません。

◇郵便局窓口、ATM(振り込み用紙/カード)でお振り込み可能です。

発行:ヨシノ支援プロジェクト
救い難き理想主義者ども
[通称/スクドモ]

HP http://www.geocities.jp/suku_domo/
メール sukudomo@yahoo.co.jp

◆賛同人/カンパ用紙(手渡し用)◆

← 該 当 に ○	賛同人	お名前	_____	カンパ数	□
	HP掲載	ご連絡先 (メール可)	_____		
	カンパ				